

菖蒲の庭から

自分の良さを見つけ、仲間と共に学び合う子どもの育成

「笑顔・あいさつ・思いやり」「勇気・挑戦・積み重ね」

小田原市立東富水小学校
学校だより R8 2月
第10号



寒い日々が続いているが、子どもたちの朝夕の元気なあいさつに心も温まる毎日です。先日、小雪がちらつく朝、子どもたちは「雪がふってきた!」「これ雪だよね!」とはしゃいでいました。積もることもなく安心した半面、雪の積もった学校も経験させてあげたいなという思いもありました。

さて、今、学校では、2月下旬に計画されている「6年生送る会」等にむけたさまざまな準備や練習に取り組んでいるところです。その様子については、次号の学校だよりやホームページ等でお知らせできればと考えています。



未来へつながる学校づくり



ここからは、今年度の「未来へつながる学校づくり事業」についてご報告いたします。この事業は、小田原の子どもたちの豊かな心の育ちを願い、生涯学習の基礎・基本を培い、社会をたくましく生き抜いていく力を育てるために、「子どもの学びと育ちを地域ぐるみで支える学校づくり」を推進していくものです。

(1) 学ぶ力

～「主体的・対話的で深い学び」の実践～



講師の先生に、国語の授業を参観していただきました。（写真は5年生の様子）

本校では、国語科を窓口とし、校内研究を進めて2年目になります。意識調査（授業アンケート）等から子どもの実態把握をして、どのような手立てで取り組んでいかか各ブロックで話し合いを重ねてきました。研究は、授業提案を中心に行っていますが、日常の授業においても、年間を通じて「主体的に学び続ける子」の姿に迫るよう考えてきました。

また、講師として山梨大学大学院から茅野政徳先生をお招きし、物語のおもしろさを教師自身も味わいながら授業づくりを進めています。これらの取り組みから、「聞く」ことを大事にしながら仲間と意見を交流したり、学んだことや自分の思いを発信していったりする姿がどの学年でも見られるようになったことは、実践の成果だと感じています。引き続き、表現するための言葉の力（語彙力）をより豊かにしていくこと、自分の学びを振り返りながら調整していくこと等に取り組みながら「主体的に学び続ける子の育成」、そして「深い学び」の実践につなげていきたいと思います。

(2) 豊かな心

～違いを認め合う温かい人間関係づくり～



授業についての指導・助言、国語の授業づくりについて講話をいただきました。



道徳教育では、全校朝会を行いました。体育館で参集して実施する予定でしたが、感染症の心配があった時期



道徳朝会後の各学年の感想を掲示しました。図書室前にあります。



幼稚園・保育園との交流（5年生）
温かい関わりが見られました。

今年度は、危機管理マニュアルを再確認するとともに、地震や水害等において定期的な訓練を実施してきました。想定はさまざまで、授業中、休み時間、時には児童に予告なしの訓練も行っています。休み時間の運動場などでは、高学年の児童が低学年に声をかけながら避難する姿も見られ、自分の身の安全を守ることとともに仲間の安全も考える姿が見られるようになっています。不審者対応訓練では、本校の教職員が出演した動画を作成し、具体的な場面や行動が想定できるように授業を実施しました。

また、学校保健委員会では、「けがちゅういほう」と題し、どんなときに怪我をしやすいか、皆が安全に過ごすためにできる工夫はあるか等を話し合いました。引き続き、よりよい過ごし方をめざし取り組んでいきます。

教育活動は年間をとおして計画的に取り組んでいますが、カリキュラムマネジメントを意識し授業を創っていくなかで、まだまだよりよいものをめざせることに気づくことができました。今後もどのような場面で子どもたちが出会い、「学び」へつなげていくか、多様な人々との関わりとともに、様々な経験を積み重ねていく実践を行っていきたいと考えています。

だったのでリモート朝会になりましたが、絵本「心ってどこにあるのでしょうか？」について考えました。全校で同じテーマに取り組むことでさまざまな意見があることを知る機会になり、学びを広げることができました。

5年生では、幼稚園・保育園との交流を総合的な学習の時間に位置づけ、計画的に取り組んでいます。これは来年度を見据えての活動です。学校を案内することから始めた子どもたちでしたが、誰に何のために伝えたいのかという相手意識や目的意識が少しずつ高まりを見せ、ステップアップできるよい学びの場となっています。

また、たてわり班で行う全校集会「55ひがどみフェスティバル」においても、6年生が中心となって異学年の仲間でイベント成功に向けて動き、みんなでよりよいものを創り上げようという雰囲気が醸成されてきました。教師が教える、伝えることだけでなく、場や役割をつくり、子どもの力を信じて活動を見守りサポートすることは成長において必須だと再確認しました。



(3) 健やかな体

～安心・安全な教育環境整備・健康的な生活習慣の定着～

今年度は、危機管理マニュアルを再確認するとともに、地震や水害等において定期的な訓練を実施してきました。想定はさまざまで、授業中、休み時間、時には児童に予告なしの訓練も行っています。休み時間の運動場などでは、高学年の児童が低学年に声をかけながら避難する姿も見られ、自分の身の安全を守ることとともに仲間の安全も考える姿が見られるようにな



学校保健委員会の後、各クラスで
どんな取り組みをするか考えました。



お知らせ

来年度（R8年度）より、学校徴収金（教材費等）の集金をデジタル化いたします。銀行口座やコンビニ払いでのお支払いができるようになります。詳しくは、後日お便りを配付いたします。